



# 大南地域 まちづくりビジョン



将来像

あすを ひらこう 南の大地

大	南	地	域	ビ	ジ	ヨ	ン	会	議
平	成	30	年	7	月				

# 一 目 次

## はじめに

### 第1章 地域の特性

- 1 地理的特性……………P2
- 2 地域の歩み、歴史・文化的特性……………P2～3

### 第2章 地域の現状

- 1 土地利用の状況……………P4
- 2 地域資源……………P5～7
- 3 地域内の公共施設等……………P8～9
- 4 災害への対応……………P10～11
- 5 市民との協働によるまちづくり……………P12

### 第3章 人口推移と将来推計

- 1 大分市の人口推移と将来推計……………P13
- 2 大南地域の人口推移と将来推計……………P14
- 3 大分市の人口ビジョン……………P15

### 第4章 地域の分析

- 1 SWOT分析による地域の検証……………P16～18

### 第5章 地域のあるべき姿(将来像)

- 1 地域の将来に向けた魅力・課題……………P19
- 2 地域の将来像……………P20

### 第6章 将来像の実現に向けた取組

- 1 これからのまちづくりに向けた市長への提言……………P21
- 2 提言に基づく提案事業の一覧……………P22～23

## 資料編

- 1 策定経過……………P25
- 2 大南地域ビジョン会議委員及び顧問、事務局名簿……………P26
- 3 大分市地域ビジョン会議設置要綱……………P27～29

## はじめに

わが国では、急速に少子高齢化が進み、本格的な人口減少社会を迎える中、大分市においても、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域の活力維持や地域コミュニティの希薄化など、さまざまな課題が懸念されています。これらの課題解決のためには、行政が地域の実情や意向等を的確に把握し、市政への反映に努めることが必要と考えております。

このような状況を受け、地域の活力維持・増進を図ることを目的に、市内13地域において、各地域の代表者で構成する「地域ビジョン会議」を設置し、それぞれの地域の現状と課題などを議論し、地域の将来像として「地域まちづくりビジョン」を策定しました。

本ビジョンでは、大南地域ビジョン会議で取りまとめた「大南地域におけるまちづくりの方向性」について、大分市長に提言します。

## 市内13地域における地域ビジョン会議

大分中央地域	大分東部地域	大分西部地域
大分南部地域	南大分地域	鶴崎地域
<b>大南地域</b>	植田地域	大在地域
坂ノ市地域	佐賀関地域	野津原地域
明野地域		

## 大南地域の対象校区

大南地域まちづくりビジョンは、戸次、判田、竹中、吉野の4校区を対象としています。



## 第1章 地域の特性

### 1 地理的特性

大南地域は大分市の南部、大野川の上流域に位置し、一級河川である大野川及びその支流に沿って既存の集落地が育まれてきました。

面積は大分市の約1/4を有しており、その多くを本宮山や天面山などの山地及び丘陵地が占める豊かな自然に恵まれた地域です。

主要幹線道路である国道10号が地区の中心を南北に伸びており、その沿線を中心に市街地が形成されています。

### 2 地域の歩み、歴史・文化的特性

#### (1) 地域の歩み

大南地域では、農村商易を中心に水陸交通の要衝として江戸時代から戦前にかけて繁栄した地域が数多くあり、歴史的建造物や伝統的な文化が数多く残っています。

農業と林業を産業の中心としてきた地域で、大野川沿いの肥沃な土地には豊かな水利を活用した水田や畑地などの農用地が広がっています。

昭和40年代以降は、丘陵地に判田台・高江ニュータウン・梅が丘・けやき台など郊外型の団地が造成され、市街地の広がりを見せる一方で、周辺部では昔からの豊かな自然が今も変わらず残っています。

#### 【沿革】

明治22年4月1日

町村施行令により、戸次村、判田村、竹中村、河原内村、吉野村が発足。

明治40年4月1日

竹中村と河原内村が合併し、竹中村となる。

大正10年1月1日

戸次村が町村施行により、戸次町となる。

昭和29年3月31日

戸次町、判田村、竹中村、吉野村が合併し、大南町<sup>※1</sup>誕生。

昭和38年3月5日

大野町大字安藤の一部(黒岩)を編入。

昭和38年3月10日

大分市、鶴崎市、大南町、大分町、大在村、坂ノ市町が合併し、新たな大分市が発足。



旧大南町役場

※1 大南町…この町名は、大分市の南という意味と中国の古典『莊子』の「大鵬 図南」(想像上の古鳥、鵬が遥か南方に向かって飛び立とうとする意から、南に発展しようとする。大事業を計画すること。)から二字をとり町の発展を意味したも  
のとなっています。

## (2)歴史・文化的特性

大南地域には、古い町並みを今に残す戸次本町の中心にある大分市指定有形文化財の「帆足本家酒造蔵」や壮絶な戦が行われた跡地「鶴賀城跡」など、歴史を感じさせる町並みや史跡などが今でも数多く残っています。

また、「鞍馬流棒術」「深山流伊与床神楽」などの伝統芸能や、「ほうちょう」「吉野鶏めし」などの郷土料理も地域の住民により大切に守り引き継がれています。



### ■帆足本家酒造蔵【市指定有形文化財】

江戸末期から明治にかけて建築され、昭和47年まで酒造りに使われていました。木造2階建て、延べ面積は約1426平方メートルで、平成7年12月26日に故14代目当主帆足市太氏より大分市に寄贈され、日本の近代産業の一つである酒造業の工程がよく分かる建築群として、平成11年3月23日に「大分市指定有形文化財」に指定されました。



### ■鶴賀城

別名「利光城」とも言われ、険しい連山のいただきに築かれた山城です。

天正14(1586)年の晩秋、薩摩から大挙して豊後に攻め入った島津軍が、大友勢の城や砦を次々と攻略していく中、島津軍の前に立ちはだかり、進行を阻んだのが鶴賀城です。



### ■鞍馬流棒術

正しい名称は、兵法鞍馬流忍術(基法鞍馬流源義経忍流)といい「木剣」「柔術」「合気道」「棒術」などそれぞれの目録に分けられています。

吉野地区には釘宮滝蔵、源義人が伝え、幕末の時代から農民武芸として広まったものです。



### ■深山流伊与床神楽

大分市端登五柱神社に伝わる深山流伊与床神楽は、明治14年大野郡朝地町深山八幡社から当地に秘伝書とともに伝授され、戦前戦後を通じ途切れることなく継承されており、平成12年6月には大分市指定無形民俗文化財に指定されています。

## 第2章 地域の現状

### 1 土地利用の状況

大南地域は大野川沿いやその支流の小筒井川・河原内川沿いに集落が形成され、日向街道筋の在町(戸次本町)などの歴史的資源のある地域です。

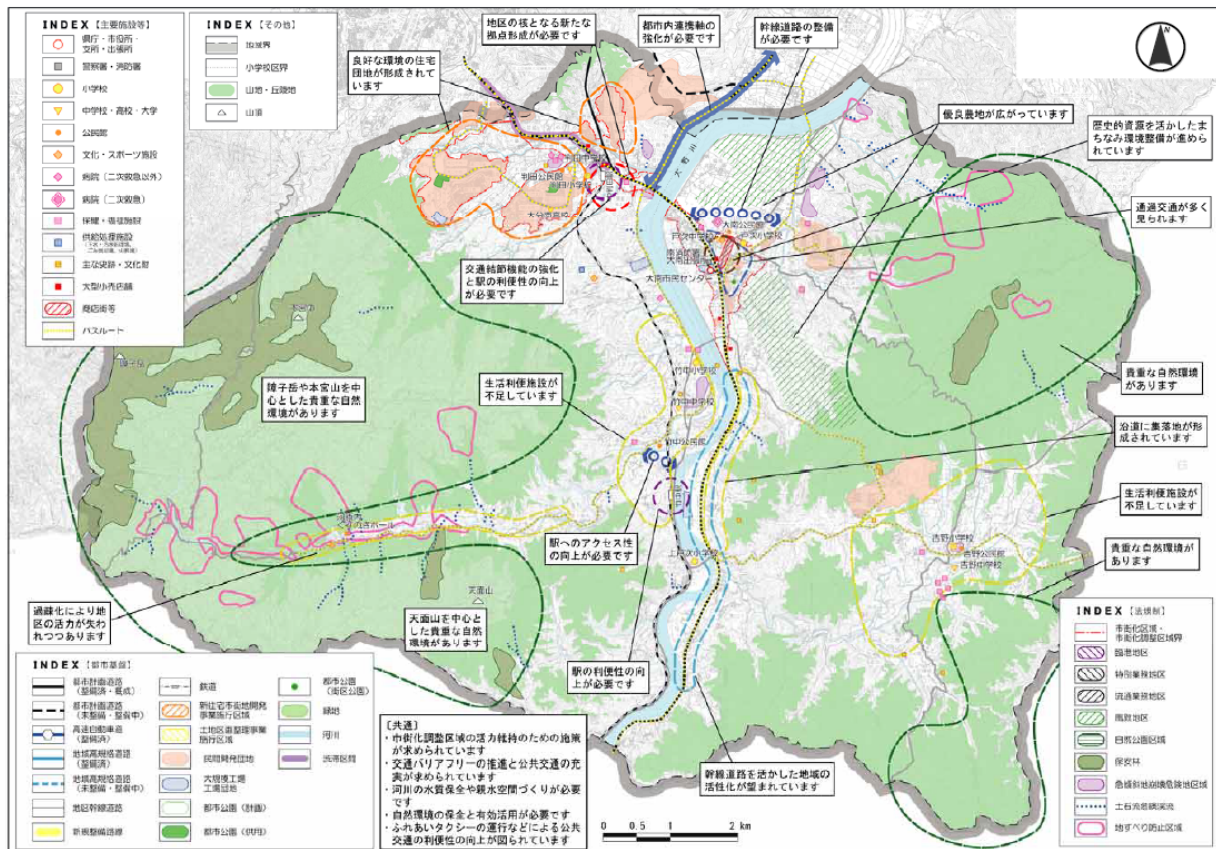
土地利用については、地区面積12,002haで、宅地や道路などの都市的土地利用面積が1,400ha(12%)、森林などの自然的土地利用面積が10,602ha(88%)となっています。

国道10号沿いに店舗などの立地が進み、その沿線を中心に市街地が形成されており、丘陵部では住宅団地の開発により良好な住環境が整備されています。

一方、地域の大部分が市街化調整区域であり、既存集落での少子高齢化と人口減少に伴い、田畑や山林の荒廃が進み未利用地の増加が懸念されています。

また、大南地域は、隣接する豊後大野市、臼杵市と市中心部、鶴崎、坂ノ市を結ぶ広域的な道路網が集積されており、今後の地域づくりに当たっては、JR中判田駅及び駅周辺における利便性向上、国道10号拡幅をはじめとする道路環境の整備、交通結節機能の強化などが課題となります。

#### ■大南地区の現況及び課題図



出典:大分市都市計画マスタープラン

---

## 2 地域資源

### (1)交流事業

史実に基づく「大野川合戦まつり」、吉野梅園で開催される「吉野梅まつり」などの交流イベントには地域内外から多くの方が訪れています。また、河原内河川プール、天面山や本宮山のセラピーロードなど豊かな自然を活用した取組も行われています。



#### ■大野川合戦まつり

1586年(天正14年)、大友・四国連合軍が島津藩と戦った「戸次川の合戦」の舞台となった大野川の古戦場を会場に、合戦を再現した合戦絵巻や武者行列、郷土芸能の上演、郷土料理・農産物の販売などが行われます。

合戦まつりは歴史的な出来事を後世に伝えるとともに、祭りを地域復興の目玉として「青少年に夢を、ふるさと大南に輝きを！」をキャッチフレーズに大分市の主要観光事業として取り組まれています。



#### ■吉野梅まつり

吉野梅園は約450本の梅の木が植えられた県内でも有数の梅の名所です。中でも、園を代表する「臥龍梅」は、今から約800年以上前に大宰府天満宮の梅を持ち帰ったものといわれ、それが梅園の始まりと伝えられています。「吉野梅まつり」開催期間中は、吉野棒術、臥龍梅太鼓、佐柳獅子舞、三味線演奏、相撲甚句、神楽、お茶会などが行われます。



#### ■よいやかがり火

江戸時代に在町として栄えた戸次(へつぎ)の歴史の紹介と、古くからこの地区に伝わる郷土芸能の披露や、食文化の祭典を行い地域の活性化と地域資源の継承・発展に寄与することを目的に、竹ひご灯籠などに火をともし、「戸次川の合戦」による犠牲者の慰霊を行うとともに、さまざまなイベントを実施します。



### ■河原内河川プール

河原内の谷あいを流れる河原内川の清流を利用した河川プールで、毎年7月1日～8月31日の間は多くの市民が利用し、自然との触れ合いを楽しんでいます。



### ■セラピーロード

(天面山セラピーロード)

山頂やその周辺は天面山森林公園として整備され、なだらかで歩きやすく眺望も良好で、秋の大野川合戦祭りでは、天面陣会場にて神楽などが披露されています。



(本宮山セラピーロード)

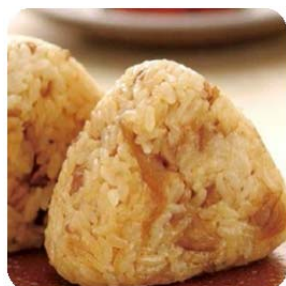
山頂付近には豊後一宮、西寒多神社の元本宮、本宮社を擁し、山頂からは、大分市街を見渡せる、すばらしい眺望となっています。



---

## (2)郷土料理

地域に昔から伝わる郷土料理が代々受け継がれるとともに、地元の食材を使った新たな特産品も生まれています。



### ■吉野鶏めし

江戸時代から吉野地区に伝わる代表的な郷土料理です。鶏肉とゴボウだけのシンプルな材料で作られているため素材の味や香りが生きており、おもてなしの家庭料理として今日まで引き継がれています。



### ■ほうちょう

戸次地区に伝わる「ほうちょう」。(鮑の腸と書く)かの大友宗麟公は鮑が大好きで、不漁の時に家来が小麦粉で鮑の腸に見立てて作ったのが由来とされています。



### ■お方ずし

竹中地区に伝わるお方ずしの具は煮豆とアジの開きのほぐし身です。その昔、農繁期に入る前に、お方(庄屋)が農家の人たちにねぎらいの思いを込めて振る舞っていたといわれています。



### ■ごぼまん

戸次地区の名産のゴボウで新たな郷土料理を！と、試行錯誤して生まれた「ごぼまん」。鶏肉やニンジン、ゴボウの風味と唐辛子のピリッとした辛みが癖になる、子どもたちのおやつにも最適な一品です。

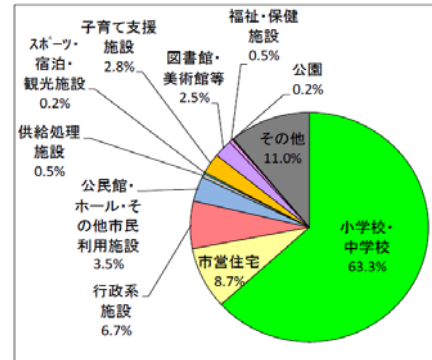
### 3 地域内の公共施設等

#### (1) 公共施設

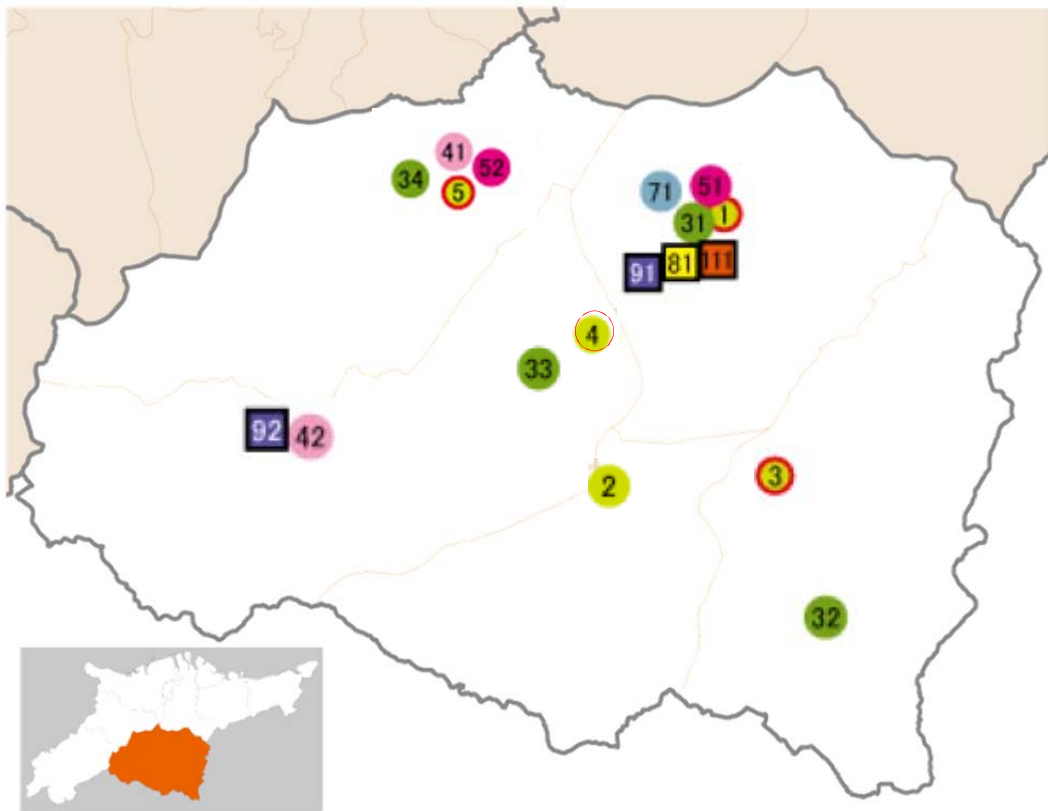
歴史的な街並みが残る戸次本町には、市指定文化財の帆足本家酒造蔵があり、貴重な観光資源として活用されています。竹中には、陶芸を通じた生涯学習施設である河原内陶芸楽習館や広域対応施設の大分市葬斎場が設置されています。

また、大南地域では新たなスポーツ施設の整備が計画されています。

図表 大南地区の建物面積の内訳



(平成24年3月31日時点)



- |  |  |  |  |   |   |
|--|--|--|--|---|---|
| <span style="color: green;">●</span> 小学校   | <span style="color: green;">●</span> 中学校   | <span style="color: pink;">●</span> 保育所  | <span style="color: magenta;">●</span> 幼稚園 | <span style="color: brown;">●</span> こどもルーム・児童館 | <span style="color: blue;">●</span> 地区公民館 |
| ① 戸次小  | 31 戸次中   | 41 あかつき  | 51 戸次                                      | 111 大南こどもルーム<br>(大南市民センター内)                     | 71 大南公民館                                  |
| ② 上戸次小   | 32 吉野中   | 42 河原内   | 52 判田                                      |   |   |
| ③ 吉野小  | 33 竹中中   |  |  |   |   |
| ④ 竹中小  | 34 判田中   |  |  |   |   |
| ⑤ 判田小  |  |  |  |   |   |
| ○ 児童育成クラブ<br>(近隣含む)  |  |  |  |   |   |
| <span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 15px;"></span> 福祉・保健 | <span style="background-color: purple; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 15px;"></span> ホール等・図書館・美術館等 | <span style="background-color: orange; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 15px;"></span> 庁舎等 |  |   |   |
| 81 大南老人いこいの家   | 91 帆足本家酒造蔵<br>92 河原内陶芸楽習館  | 111 大南市民センター   |  |   |   |

## (2)医療・介護保険施設・有料老人ホーム

大南地域には医療・福祉関連施設が複数存在しており、事業主体となる社会福祉法人などが、地域における公益的な取組として、診療時の送迎や買い物弱者に対する支援などを実施しています。

### 医療施設一覧(病院) ※平成30年3月2日時点

名 称	住 所
医療法人社団親和会 衛藤病院	大字上判田字下原 3433
医療法人社団親和会 えとう内科病院	中判田 1428-1
大分丘の上病院	大字竹中 1403
社会医療法人財団天心堂 天心堂へつぎ病院	大字中戸次字二本木 5956

### 介護保険施設・有料老人ホーム一覧 ※平成29年7月1日時点

種 別	名 称	住 所
特別養護老人ホーム	清静園	大字竹中 5268
特別養護老人ホーム	誠寿園	大字辻 902
特別養護老人ホーム	寿志の里	大字中判田 1342-3
老人保健施設	陽光苑	大字中戸次 4525
老人保健施設	親和園	大字中判田 1428-1
有料老人ホーム	住宅型有料老人ホーム ゆいまーる	大字中判田1655-1
有料老人ホーム	シルバーメゾン はんだの郷	判田台北4丁目1番2号
有料老人ホーム	有料老人ホーム Azalea Hill	下判田205番地の8
有料老人ホーム	住宅型有料老人ホーム ちゅら山	大字高江北1丁目8番2号
有料老人ホーム	有料老人ホーム 心笑み	判田台南2丁目1番1号
有料老人ホーム	住宅型有料老人ホーム だいなんの郷	高江北1丁目17-3 他
有料老人ホーム	住宅型有料老人ホーム 和らぎの里	大字中判田1950-1
有料老人ホーム	メディカルケアホーム朱雀	高江中央1丁目1304番1
有料老人ホーム	なでしこガーデン	大字中戸次 798 番地
有料老人ホーム	有料老人ホーム ひだまりの里	大字中戸次4339番地の14
有料老人ホーム	有料老人ホーム 光風苑	大字中戸次字寺ノ内5111番1

#### 4 災害への対応

大南地域では、山間部や谷あいが多い関係で、台風等の風水害の際に、山の斜面からの崩落などによる道路、農地への被害が出ることが多くなっています。

また、大野川やその支流のはんらんによる住宅の床上、床下浸水などの被害も発生しており、災害への対策が課題となっています。

##### (1)市指定避難所

大南地域には指定避難所が13箇所設置されています。



市指定避難所一覧

校区	施設名	避難可能人員(人)	
		一時	避難所
上戸次	①上戸次小学校	484	242
上戸次	②大塔公民館	60	30
戸次	③戸次中学校	981	490
判田	④判田小学校	886	443
判田	⑤判田中学校	1,138	569
判田	⑥判田米良公民館	149	74
判田	⑦大分南高等学校	1,614	807
判田	⑧ひばりヶ丘公民館	235	117
竹中	⑨竹中小学校	600	300
竹中	⑩竹中中学校	886	443
竹中	⑪河原内くすのきホール	300	150
吉野	⑫吉野小学校	886	443
吉野	⑬吉野中学校	886	443

平成29年3月時点（出典：大分市地域防災計画 資料編）

(2)自主防災組織

大南地域では、災害が発生した直後において、初期消火活動への協力や、情報を収集し、災害対策本部への連絡などを自主的に行う自主防災組織が自治区単位を基本に活動しています。

(地区別組織数)

戸次	判田	竹中	吉野
16	24	16	12

平成29年3月末時点

## 5 市民との協働によるまちづくり

### (1) 地域まちづくり活性化事業

地域と行政が連携・協力し、地域課題の解決や活性化、新たな魅力の創出等につながる事業を地域主体により取り組むことで、自立性の高い特色ある地域づくりを目指しています。

大南地域では、「健康といやしの里づくり」をテーマに、健康増進活動として、ウォーキングや農作物の収穫体験を実施するほか、地域おこしとして、特産物・名物料理開発などさまざまな事業を行っています。

#### 〈取組事例〉

##### ■ウォーキング

戸次、判田、竹中でウォーキング大会を開催しています。健康増進を図るとともに、住民相互の交流を深め、地域のすばらしい自然や史跡を再認識する機会にもなっています。



##### ■農作物の収穫体験

吉野デー「芋掘り大会」や吉野枝豆収穫体験には、地域外からも多くの市民が参加し、農業生産者との交流を深めています。



##### ■特産物・名物料理開発、販売

各種イベントにおいて大南市場として出店し、吉野とりめし、ごぼまん、鮑腸など地元の食材を活かした地域の特産物・名物料理を販売し、新たな魅力の創出と地域のPRを行っています。



##### ■史跡・景観めぐりコースの整備

地域内にある古くからの史跡や自然の景観を整備し、貴重な地域資源の保全と住民の憩いの場としての活用を図っています。

### (2) 地域づくり交付金事業

住民に身近な地域に一定の権限、財源を付与し、地域に係る課題を地域自ら主体的に解決できるようにするもので、地域内の団体や住民など、多様な主体による意見・知恵を基に地域の特性を生かした地域・まちづくりを進めることにより、市民が主役となる活力ある豊かな地域社会の創出を目指しています。

大南地域では、竹中地区において、平成28年3月に「竹中地域づくり協議会」を設立し、公民館祭りや送迎タクシー運行事業などを実施するなかで、地域内交流を図っています。

### (3) 総合型地域スポーツクラブによる交流

大南地域では、判田すこやか倶楽部が活動を行っています。

地域住民のだれもが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツ・文化活動を楽しみ、健康の保持・増進とともに、地域住民の交流を深めることにより活力ある住みよい地域づくりの推進を図っています。

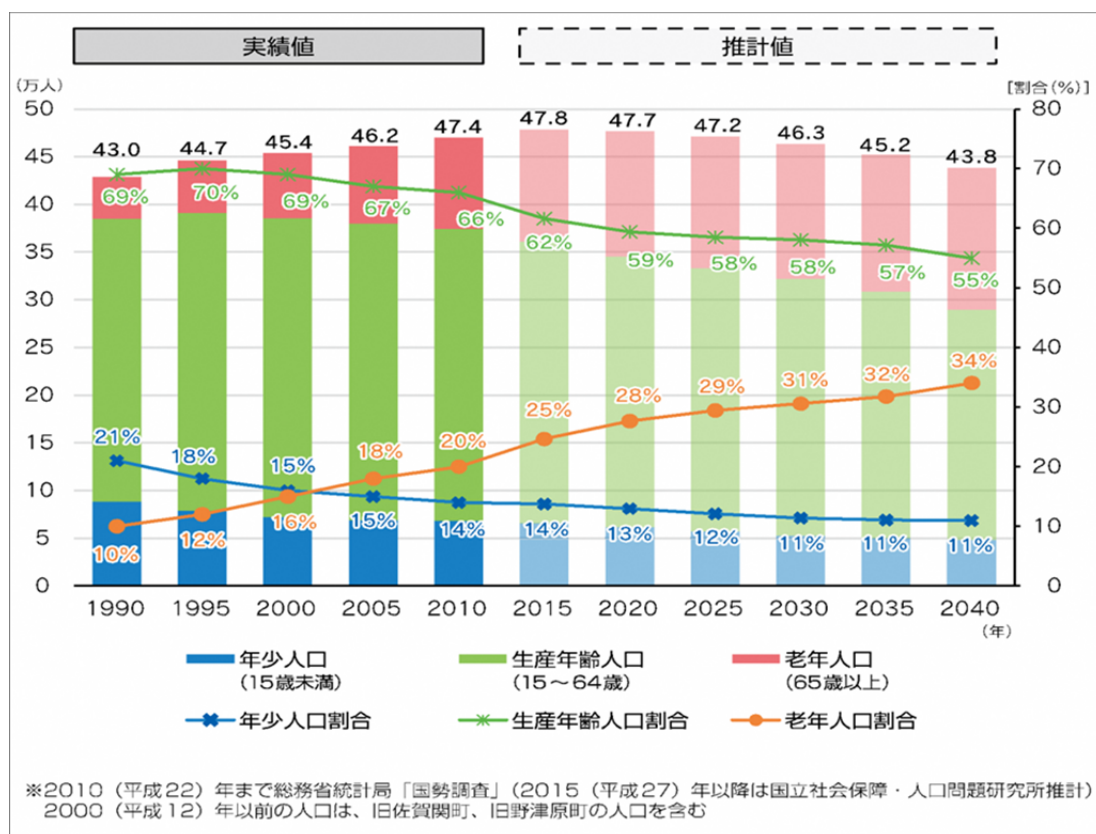
### 第3章 人口推移と将来推計

#### 1 大分市の人口推移と将来推計

##### (1) 総人口・年齢3区分別人口の推計

2010(平成22)年国勢調査を基本に、2013(平成25)年3月に国立社会保障・人口問題研究所より発表された数値を用い、将来人口を推計しました。

この推計によると、このままの状況で人口が推移していけば、2010(平成22)年から40(平成52)年までの30年間で、本市の総人口は約3.6万人、生産年齢人口(15歳～64歳)は約6.5万人減少すると予測されています。一方、老年人口(65歳以上)は約5.3万人増加し、高齢化率は34%に達すると予測されています。



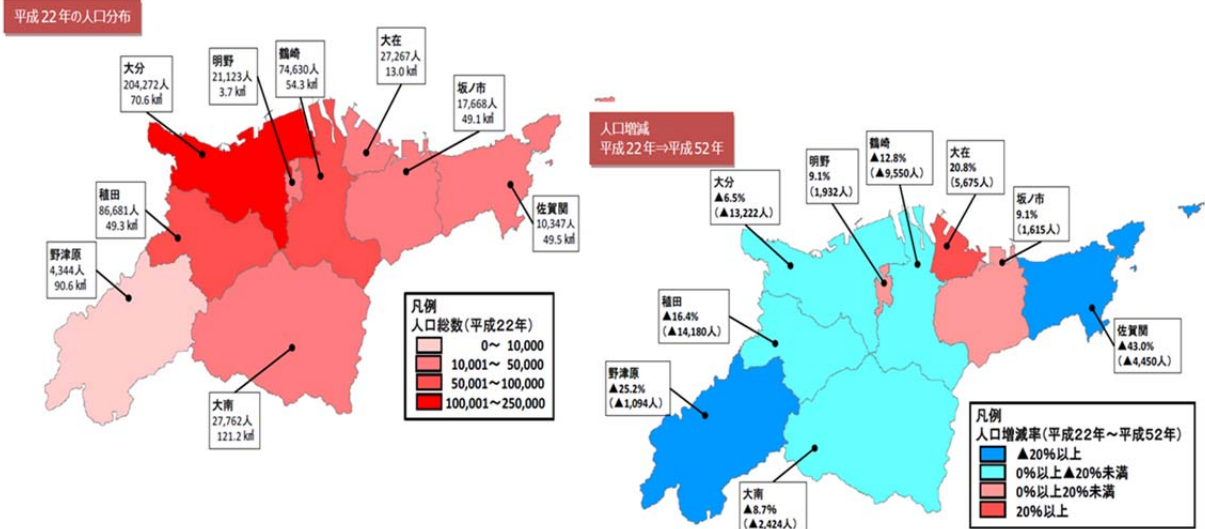
#### 【参考】



## (2) 地域別の人口推移

本市の総人口の減少に伴い、特に佐賀関地区(▲4,450人/▲43.0%)、野津原地区(▲1,094人/▲25.2%)においては、減少割合が特に大きくなるものと考えられます。

### <地域別の人口推計>

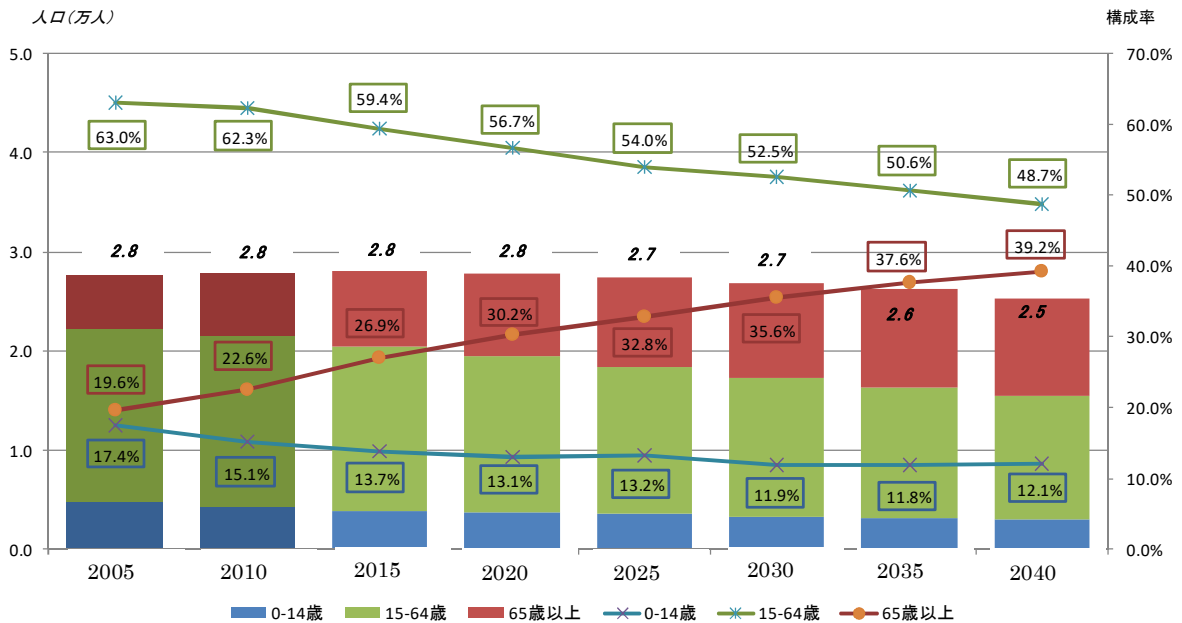


※平成52年総人口は国立社会保障・人口問題研究所推計。地域別人口については社会増減の補正を行い推計。

## 2 大南地域の人口推移と将来推計

2010(平成22)年の大南地域の人口は2.8万人で、市の総人口の約5.9%を占めています。2040(平成52)年の人口は2.5万人まで減少する見込みで、大南地域の減少率は約△8.7%となっており、本市全体の減少率(約△7.6%)よりやや高くなっています。

大南地域は本市全体と比較すると高齢化率も高く、生産年齢人口の割合も低くなっています。一方、年少人口の割合については、本市全体より高い水準で推移しています。





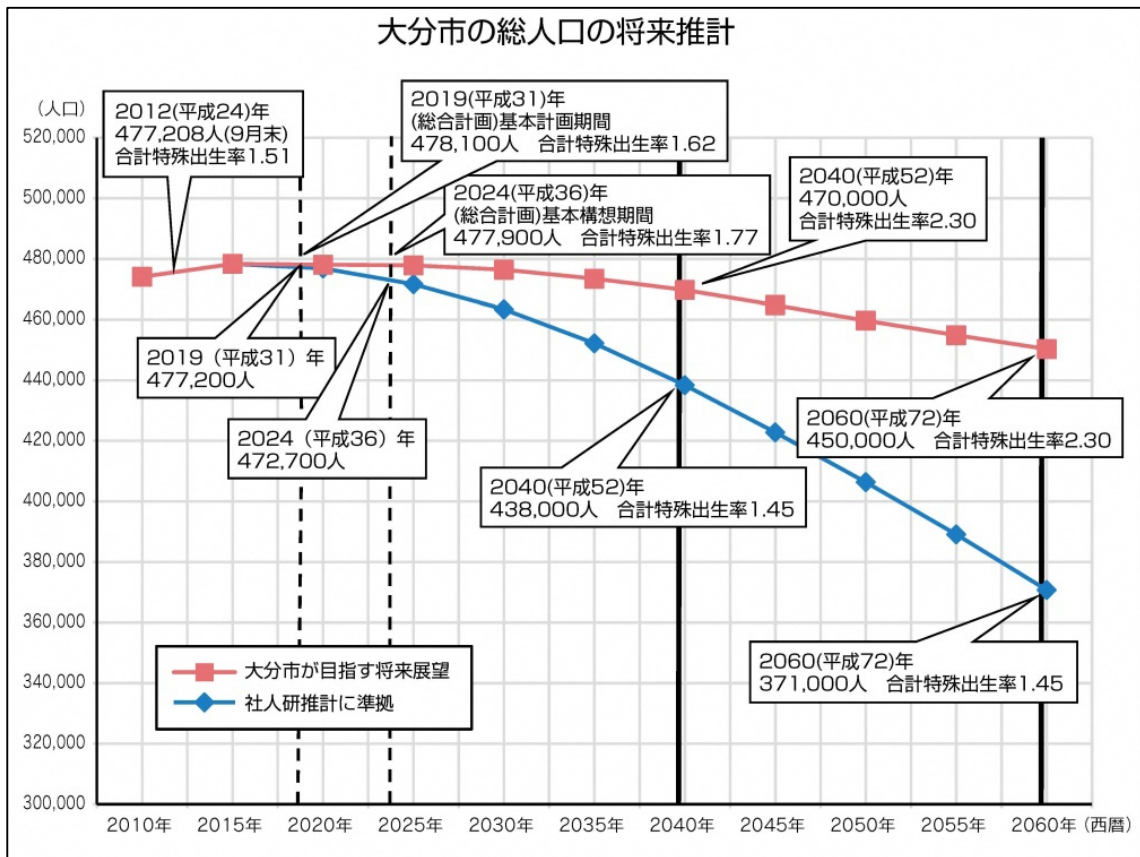
### 3 大分市の人口ビジョン

本市では、国や大分県の将来展望を勘案するなか、県都大分市としての責任を果たすため、自然増については、結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現に向けた取組のさらなる充実を図ることにより、2030(平成42)年までに合計特殊出生率を2.0程度まで高め、2040(平成52)年には2.3程度まで高めることとします。

また、社会増については、今後も東京圏を中心とした大都市への人口流出が懸念されることから、大分県全体を鑑みるなか、大分県外から、特に東京圏を中心とした大都市からの転入者を増やすことを目指していきます。

このように自然増対策と社会増対策に取り組むことにより、人口減少に歯止めがかかり、2060(平成72)年の本市の人口は、45.0万人程度としています。

#### 大分市が目指す将来展望 2060(平成72)年 人口45万人程度



## 第4章 地域の分析

### 1 SWOT分析による地域の検証

大南地域の魅力や課題を検証するに当たり、外部環境や内部環境を強み、弱み、機会、脅威の4つのカテゴリーで要因分析しました。

#### \*SWOT分析とは

地域特性を内部環境、外部環境といった次の4つのカテゴリー

「**S(強み)・W(弱み)・O(機会)・T(脅威)**」に分類整理する方法です。

多岐にわたる意見を体系化するのに適しており、地域の持つ強みや弱み、その地域が置かれている環境などを掘り上げるのに有効なツールです。

	プラス要素	マイナス要素
内部環境	<b>Strength</b> 活かすべき強みは？	<b>Weakness</b> 克服すべき弱みは？
外部環境	<b>Opportunity</b> 市場機会はあるか？	<b>Threat</b> 回避すべき脅威は？



# SWOT分析

## 【大南地域のSWOT分析(強み・機会)】

強み Strength	
<p>① 成功事例にみる子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンダ村の様な子育て支援の充実</li> </ul> <p>② 豊かな地域交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近所との交流が図られている</li> <li>・街に夢を！地域に未来を！</li> </ul> <p>③ 災害に強い地域特性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波には強い</li> </ul> <p>④ 地域の強みを活かした農業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大南は土地が広い</li> </ul>	<p>⑤ 街並みや自然景観の良さを活かしたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戸次本町の街並みを大切に！</li> <li>・大野川の良さを見直そう！</li> <li>・天面山、本宮山 里山を守ろう！</li> <li>・緑豊かな大南地区を大切に生かしていこう</li> <li>・地域にある美しいスポットの整備と集客</li> </ul> <p>例：山桜、歴史史跡、ホテル、竹林、ため池など</p>
機会 Opportunity	
<p>① 求められる交通体系の再考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスの運行・大南野津線へのバス路線設置</li> <li>・JRより車を活用させる</li> </ul> <p>② 居住環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住居市街地の拡大・住環境の充実</li> <li>・古民家等の改築 都市からの移住を進める</li> </ul> <p>③ 地域での子育ての推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎地によりそ教育</li> <li>・昔からある棒術等を子どもたちにもっと指導して広める</li> </ul> <p>④ 子育て環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが安全・安心に暮らせる環境・スクールゾーンの確保</li> <li>・子どもたちの遊べる場所を設ける</li> </ul> <p>⑤ 子育て支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に入ったから医療費が必要になる 親の負担</li> <li>・子育て支援！サークル等があって子育て中の母のケア！</li> </ul> <p>⑥ スポーツ施設の整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを通じて元気な子どもたち、元気な高齢者を増やす</li> <li>・スポーツのできる環境整備・グラウンド・スポーツ施設など</li> <li>・スポーツ公園の早期実現</li> </ul> <p>⑦ 求められる地域交流施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戸次校区公民館があるといい</li> <li>・判田校区公民館の移転拡充 駐車場を確保</li> <li>・子育て支援のできる施設が欲しい、図書館もあわせて(判田)</li> </ul> <p>⑧ 資源を活かした産業の振興と新規事業の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名産品・6次産業の振興・有用植物を商品化して販売</li> <li>・地域素材を生かした商品開発 例：薬草、薬樹を生かす</li> <li>・竹産業・生産物の流通、販売網の整備</li> <li>・道の駅の様子が集まり活気のある場所・商業地用地の確立</li> </ul> <p>⑨ 自然を活かした観光の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然保護・バードウォッチングの場所づくり、写真撮影の場所づくり</li> <li>・大野川、河原内・豊かな自然環境を生かしたまちづくり</li> <li>・河原内、吉野。森にまちづくりの拠点をづくり観光に役立てる</li> <li>・森遊び場体験場づくり、体験場づくり。里山整備、川遊び、炭焼など</li> <li>・自転車道、遊歩道の整備、案内板、パンフ、ネットを通じて良い所を発信する</li> </ul>	<p>⑩ 政策や制度の在り方、各施設の充実等高齢者への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者などの買物弱者への支援</li> <li>・高齢者が気軽に集まれる自由な場所が欲しい</li> <li>・高齢者が参加しやすい いつでも参加できる場所、会がほしい</li> <li>・高齢者用の娯楽施設の実現</li> <li>・高齢者増免許返上の為交通体系の充実</li> <li>・高齢化にあわせバスの増便を望む</li> <li>・高齢者が住みやすい環境づくり</li> </ul> <p>⑪ 地域のにぎわいを促進する商業施設の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンストップ ショッピングのできる場所づくり</li> <li>・判田地区の飲食店、レストランの進出</li> </ul> <p>⑫ 各種規格道路の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道10号、松岡線の道路整備</li> <li>・国道10号の拡張を早く実現して欲しい</li> <li>・道路整備は大規模な幅でなく離合所、ガードレール安全を中心に改良をすすめて</li> <li>・交通網の整備 主要道路、生活道の整備</li> </ul> <p>⑬ 中判田駅及び周辺の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中判田駅前の整備・中判田駅前の開発(商店・コンビニ等)</li> <li>・中判田駅の道路、広場の改良</li> </ul> <p>⑭ 後継者育成や地場産品、耕作放棄地の解消等農業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後継者育成のため土地利用規制の廃止</li> <li>・産業振興 当地区は農業振興地域物産の掘り起こしをする</li> <li>・耕作放棄地の有効利用</li> </ul> <p>⑮ 地域資源を活かしたまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅立地の重要さは商業施設等の利便性</li> <li>・コンパクトシティについては十分な議論をつくそう！</li> <li>・地域づくりに住民参加を！</li> <li>・人口(子ども、老人、会社)が増えれば、インフラは自然に整うと思う</li> <li>・歴史と風土を再発見しよう</li> <li>・いかに多くの人が大南に定住するかで考える</li> <li>・地域振興の行事を少なくして、動員をしなくて楽しめるように</li> <li>・既存施設の細やかな活用</li> </ul>

# SWOT分析

## 【大南地域のSWOT分析(弱み・脅威)】

### 弱み Weakness

- ① 地域交流・スポーツ施設の欠如
  - ・高齢者が集う場所が少ない
  - ・地域の人の集まれる広場がない
  - ・スポーツ施設がない
- ② 公園の未整備
  - ・公園が少なく子どもが遊べない
  - ・子どもが遊べる公園がない(遊びたくなる公園)戸次
- ③ 通学路等の安全対策
  - ・通学中の子どもの道を車が通り危険を感じる
  - ・通学児童の安全歩行のできる通学道路の整備
- ④ 求められる道路関連施設のインフラ整備
  - ・道路問題
  - ・踏み切りが狭く大変危険である
  - ・竹中線に入ったら外灯が少ない
  - ・旧道が狭く離合がしにくい
  - ・生活道路 完成されていない
  - ・住宅の前を大型の車が通る 戸次本町
- ⑤ 基幹産業の欠如
  - ・基幹産業が少ない(ない)農・商・工
  - ・事業者が少ない
- ⑥ 生活環境を支えるインフラ施設の未整備
  - ・市水道ない
  - ・水道の開通
  - ・公共下水の早期実現
  - ・消防局(分所)の数が少ない?
  - ・交番の数が少ない?
- ⑦ 商業の停滞による買い物弱者問題
  - ・竹中には店がない 高齢者の買物が不便
- ⑧ 公共交通の利便性の低さ
  - ・駅と生活エリアが離れている
  - ・JRの本数は多いが、バスの便数が少ない
  - ・交通の便が悪い
  - ・バスの便が少ない
  - ・交通体系でバス停が遠いので、ワンコインは役立たない!
  - ・ワンコインバス使いにくい(便が少ない)
- ⑨ 中判田駅の未整備
  - ・中判田駅 使いにくい(階段)
  - ・中判田駅周辺の寄り付きが悪い

### 脅威 Threat

- ① 顕在化する少子高齢化問題
  - ・高齢者が多く子どもが少ない
  - ・少子化問題
- ② 求められる災害対策の充実
  - ・水害時の避難場所がない
  - ・防災の在り方指導等ももっときちっとしてほしい!
  - ・消防団員の人手不足!
  - ・有事に備えた災害防止訓練の不足
- ③ 高齢者運転免許の必要性
  - ・高齢者の交通(車の運転)が危ない
- ④ 増える耕作放棄地への対策
  - ・耕作放棄地
  - ・不耕作地が多くなった
- ⑤ 市街化調整区域の対応
  - ・竹中地区の住宅問題(建て替え)

## 第5章 地域のあるべき姿(将来像)

第4章の「地域の分析」により、大南地域の将来に向けた魅力や課題の整理を行いました。今後、地域のさらなる発展のために、地域のあるべき姿(将来像)を設定し、魅力の向上や課題解決に向けた取組を検討していく必要があります。

### 1 地域の将来に向けた魅力・課題

#### 大南地域が誇る魅力

##### 1. 豊かな自然に恵まれた地域性

⇒大南地域には水田や畑地などの農用地が広がっており、農産物の生産が盛んに行われています。また、地域資源となる可能性のある山林、竹林や大野川の清流、ホタル観賞もできる支流など豊かな自然に恵まれています。

##### 2. 歴史的町並みや郷土料理、祭りなどの地域資源

⇒戸次本町などには歴史的価値の高い建造物も数多く存在しています。また、地元の食材を使った特産品や大野川合戦まつり、吉野梅まつりなどのイベントは地域の新たな魅力となっています。

##### 3. 暮らしやすさに通じる立地特性

⇒大南地域は市の中心部や東部地域、隣接する臼杵市や豊後大野市と国道10号や主要県道で結ばれており、車で容易にアクセスできる立地特性を有しています。また、医療施設や社会福祉施設も比較的多く、大分南高校や隣接地にある大分大学など教育環境にも恵まれています。

#### 大南地域が抱える課題

##### 1. 公共交通網等の整備

⇒山間部では公共交通の便が悪く、高齢者等が買い物や通院に利用しているふれあい交通も便数が限られています。また、バリアフリー化されていないJR中判田駅や地域内に狭隘な道路が多いことも課題となっています。

##### 2. 地域交流の拠点となる施設の整備

⇒子どもから高齢者まで利用できるスポーツ施設など地域交流の拠点となる施設が不足しています。

##### 3. 自然災害への対応

⇒山間部や谷あいが多い関係で、台風等の風水害で、道路、農地に大きな被害が出ることも多く、積雪によりライフラインが寸断され孤立する集落も存在します。また、大野川流域では毎年のように水害が発生しており、対策の強化が求められています。

##### 4. 進行する過疎化への対策

⇒地域の周辺部などでは、高齢化と人口減少が進みコミュニティの維持さえ難しくなっている自治区があります。過疎化の要因としては、上下水道や通信網など生活関連のインフラが整備されていないことや、土地の有効利用が難しいことなどが考えられます。

## 2 地域の将来像

### <大南地域の将来像(コンセプト)>

あすを ひらこう 南の大地

#### 将来像への思い

歴史ある町並みや自然景観の良さといった地域資源などを守りながら、大南地域にある魅力を探し出し、磨きをかけることで大南地域をより暮らしやすい大分市の南の都としていき、活気にあふれ心豊かなまちづくりを推進したいという想いを込めるとともに、明るい未来を求めていこうとする意志が伝わるよう、この将来像を設定しています。



## 第6章 将来像の実現に向けた取組

### 1 これからのまちづくりに向けた市長への提言

これまで、地域まちづくりビジョンの策定に向けて、改めて自らの住む地域を見直すとともに、今後、地域と行政が一緒になってどのような取組を進めていくべきか議論を深めてきました。

わたしたち大南地域の住民が描く地域の将来像実現のため、これからのまちづくりに向けて次のとおり提言します。

#### 提言1：だれもが安全・安心で健やかな生活がおくれるまちづくり

子どもから高齢者までだれもが安全・安心な生活がおくれるよう、身近に集える公園・広場などの整備といった子育て環境の充実や各種災害への対策に関する取組をすすめていくことが望まれます。

また、子どもから高齢者まで利用できるスポーツ施設を整備し、子どもたちの健全育成や高齢者の健康増進に関する取組をすすめ、多世代交流を促進していくことが望まれます。

#### 提言2：地域資源を活用したまちづくり

大南地域は豊かな自然に恵まれた地域で、水田や畑地などの農用地が広がっており、農産物の生産が盛んに行われています。加えて、戸次本町など歴史的価値の高い建造物も数多く存在しています。

このような中、歴史的な町並みを活かしたまちづくりを推進するとともに、地域資源を活用した新たな特産品の開発など、地域の特色を活かした取組が望まれます。

加えて、これらの地域の魅力を情報発信するための拠点整備も必要と考えます。

#### 提言3：公共交通網等の整備による住みよいまちづくり

JR中判田駅周辺においては、アクセス道路の整備など交通結節拠点としての機能強化に加え、駅のバリアフリー化をすすめるなど、だれもが訪れ、利用しやすくなるような交流拠点としての施設整備をすすめることが望まれます。

また、大南地域内には狭隘な道路も多いことから、住みよいまちづくりのための道路整備が必要であるとともに、買い物弱者などに対する支援策としてシャトルバスやコミュニティバスの活用も望まれます。

#### 提言4：住みたくなるまち、訪れたいまちづくり

大南の魅力を地域住民みんなで理解し共有するとともに、地域外からも多くの人に訪れてもらうための情報提供やイベント開催などの取組が望まれます。

また、大南のにぎわいを創出するため、企業誘致の促進や移住・定住の促進を図る取組をすすめていくことが望まれます。

## 2 提言に基づく提案事業の一覧

地域ビジョン会議では、地域の将来像を実現させるための前段の提言に基づき、事業の提案を行い、個人、地域、行政の役割分担についての検討を行いました。

それらの提案事業については下記のとおりです。

提言	事業名	内容
1	子育て環境の充実	・近所に、地域の人が活用でき、子どもが気軽に遊べる公園や広場などの充実
1	安全・安心なまちづくり	・大雨時等の一時避難場所の確保(戸次地区) ・防災士のネットワークづくり、防災意識の啓発 ・排水機能や防災無線など通信機能の充実
1	スポーツ施設の整備などを通じ、元気な子どもたち、高齢者を増やす事業	・スポーツに親しむ場や機会をつくり、子どもや高齢者が一緒に利用することで、健康増進と多世代交流を促進 ・クラブチームなどの活動拠点となる合宿所などの確保
2	自然を活かした農業体験、観光農業の促進	・大南の地の利を活かした農業体験、観光農業の促進 ・農業生産者と消費者とのふれあいの場の確保
2	地域交流・情報発信拠点の整備	・大南の魅力をPRできる道の駅のような拠点の整備 ・地元の農産品、加工品の販売
2	農林資源(薬草・竹林など)を活用した地域活性化	・薬草料理教室や薬草マイスターによる講座(養成講座含む)の開催 ・地域資源を活用した商品開発などによる事業の創出
3	コミュニティバスなどを活用した買い物弱者にやさしい地域づくり事業	・高齢者などの買い物弱者への支援のためのコミュニティバスの運行と併せ、ワンストップショッピングができる施設の整備 ・中判田駅を起点に大南地域を循環するシャトルバスの運行
3	中判田駅とその周辺の整備	・南高校の生徒も利用しやすい駅とするための利便性の確保 ・周辺道路や駅前広場の整備 ・国道10号の拡幅に伴う、判田郵便局前交差点の改良等 ・陸橋を無くすなど、駅のバリアフリー化の推進
3	住みよいまちづくりのための道路整備(いのちを守るための道づくり)	・地域の生活道、県道、市道などの整備(幅員の確保) ・白滝橋から竹中、河原内間の街灯の整備 ・県道大分大野線、弓立上戸次線の道路整備(災害時における国道10号の迂回路の確保や緊急車両の通行路確保)
4	住みたくなるまち、訪れたくなるまち大南を創る	・地域の自然、緑あふれる大地の活用 ・大南の魅力を地域住民みんなで理解し共有するための情報提供やイベントの開催 ・過疎地域におけるインターネット環境等のインフラ整備
4	企業誘致推進事業	・地域の実情に合った企業等の誘致で雇用を創出 ・耕作放棄地などの転用や、農業の6次産業化の促進 ・多方面にアクセスしやすい利点を活かした企業誘致
4	市街化調整区域内における土地利用規制緩和等	・過疎地域内における耕作放棄地などの土地の有効活用 ・市街化調整区域内の未利用の土地などを市が管理、分譲(情報提供)するなど、地域に人を呼び込む仕掛けづくり



# 大南地域まちづくりビジョン 提案事業

私ができること	地域でできること	行政に望むこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちからの意見を聞く</li> <li>地域の見守り活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園ができそうな場所を探す</li> <li>小さい子どもたちが安心して遊べるための見守り活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園作りに係る費用の助成</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体(防災士、消防、区長会等)における会合等への参加</li> <li>自宅を緊急避難場所として提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域が一体となり施設の重要性を認識し、行政への要望をする</li> <li>定期的な訓練を継続的に行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難拠点の整備</li> <li>防災拠点の確保</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>総合型地域スポーツクラブに関する事業への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントの企画立案、広報活動</li> <li>誘致の応援</li> <li>総合型地域スポーツクラブの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ施設の早期整備</li> <li>地域事業への支援、援助</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>収穫体験する農産品の調査等への協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の場の提供</li> <li>支援する人材の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域リーダーの育成</li> <li>生産、販売への指導</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>荒れた耕作地の再利用の推進活動</li> <li>自身の思い(意見)を伝える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農作物の共同運搬</li> <li>→集配を地域で協力的に行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街化調整区域の緩和</li> <li>地域交流、情報発信拠点の整備</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>NPO 法人などの活動への参加</li> <li>地域内交流による情報発信など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い人の集まりを作る</li> <li>地域からのアイデア提案</li> <li>空き家の利活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NPOと地域への橋渡し</li> <li>食品ブランド化を図るための食品加工工場等の充実</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関への呼び掛け</li> <li>免許返納後、バス等の利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用促進 PR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティバスの運行</li> <li>運賃の補助</li> <li>交通拠点整備</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>整備に何が必要か、どうすれば利用しやすくなるのかといった、利用者からの意見聴取への協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域交流拠点としての活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅周辺整備</li> <li>JRへの要望(バリアフリー化含む)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方の意見を聞く</li> <li>地域内の見回り</li> <li>高齢運転者に意見を聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地提供の協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路(市道、県道、農道)整備</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>大南地域の魅力的な場所を探す</li> <li>戸次本町の町並み保存への協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の魅力について共有する</li> <li>地域の魅力の情報発信</li> <li>各地域のネットワークを作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の魅力を引き立てる仕掛けづくり</li> <li>過疎地域の実態把握とともに、実態に即した支援</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や事業の調査、研究</li> <li>行政、地域行事への協力</li> <li>先進事例などの情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域内外の異業種間との交流、連携</li> <li>情報収集</li> <li>行政への協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源の特性を把握・有効活用</li> <li>助成制度</li> <li>関係機関(国、県など)との連携</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅を建てたい人を募る</li> <li>地域の魅力をPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地、空き地の確認</li> <li>所有者の調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅用地の造成</li> <li>ライフラインの確保</li> <li>都市計画法の特例を認める</li> </ul>

---

# 資料編

## 資料編

### 1 策定経過

年月日	取組内容
平成29年 5月12日	大南地域ビジョン会議 準備会議 大南地域ビジョン会議委員の委嘱
平成29年 6月 2日	大南地域ビジョン会議 第1回会議 大南地域ビジョン会議顧問の参画
平成29年 8月 3日	大南地域ビジョン会議 第2回会議
平成29年10月19日	大南地域ビジョン会議 第3回会議
平成30年 2月13日	大南地域ビジョン会議 第4回会議
平成30年 5月30日	大南地域ビジョン会議 第5回会議
平成30年 7月 2日	大分市地域まちづくりビジョン報告会 市長へ提言



## 2 大南地域ビジョン会議委員及び顧問、事務局名簿

◎大南地域ビジョン会議 委員19名 (委員の所属等は選任時のもの)

※敬称略

役職	氏名	所属等
会長	首藤 隆憲	戸次校区社会福祉協議会会長
副会長	早野 正生	大南地区自治委員連絡協議会会長(判田校区会長)
	渡邊 信一	戸次校区自治委員連絡協議会会長
	安東 元夫	竹中校区自治委員連絡協議会会長
	上野 浩一	吉野校区自治委員連絡協議会会長
	帆足 嘉洋	商工会議所(戸次)
	得丸 直子	民生児童委員(判田)
	後藤 三郎	民生児童委員(竹中)
	猫橋 美一	大南地区社会福祉協議会会長(判田)
	工藤 護国	大南地区老人クラブ連合会会長(判田)
	岡崎 祐二	PTA(竹中小中)
	古城 修一	NPO法人碧い海の会(竹中)
	新名 健司	吉野公民館運営協議会会長
	高橋 美志子	あゆみの会(判田)
	石井 鏡成	戸次本町街づくり推進協議会会長
	和田 美徳	吉野農業活性化協議会会長
	野尻 衣公代	食生活改善推進員(竹中)
	広瀬 映子	食生活改善推進員(戸次)
	相馬 佐喜代	吉野婦人防火クラブ代表

◎大南地域ビジョン会議 顧問5名

※敬称略

氏名	所属等
野尻 哲雄	大分市議会議員
藤田 敬治	大分市議会議員
今山 裕之	大分市議会議員
帆秋 誠悟	大分市議会議員
甲斐 高之	大分市議会議員

◎大南地域ビジョン会議 事務局10名 (構成員の所属は選任時のもの)

	氏名	所属等
事務局長	朝見 睦夫	大南支所
事務局次長	帯刀 修一	大南公民館
	阿南 博昭	大南支所
	藤川 勝也	大南支所
	神野 潔	まちなみ整備課
	桑原 治	道路建設課
	増本 朗	観光課
	渋谷 浩憲	生産振興課
	山口 大介	企画課
	園田 哲也	企画課

---

### 3 大分市地域ビジョン会議設置要綱

---

#### (設置)

第1条 市民が思い描く地域の未来像であり、地域の特性を活かしたまちづくりの方向性についての市民の提言となる地域まちづくりビジョンを策定するため、地域ごとに地域ビジョン会議(以下「ビジョン会議」という。)を設置する。

#### (名称及び設置地域)

第2条 ビジョン会議の名称及び設置地域は、別表のとおりとする。

#### (所掌事項)

第3条 ビジョン会議は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1)地域まちづくりビジョンの策定に関すること。
- (2)地域まちづくりビジョンの市長への報告に関すること。
- (3)その他地域まちづくりビジョンの策定に関し市長が必要と認める事項

#### (組織)

第4条 ビジョン会議の委員は、25人以内とし、次に掲げる者のうちから市長が参画依頼する。

- (1)各種団体の代表者
- (2)校区会長
- (3)学識経験を有する者
- (4)その他市長が必要と認める者

#### (参画依頼の期間)

第5条 参画依頼の期間は、参画依頼の日から第3条に掲げる所掌事項が終了する日までとする。

#### (会長及び副会長)

第6条 ビジョン会議に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により選出する。

- 2 会長は、ビジョン会議を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

#### (会議)

第7条 ビジョン会議の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、会長がその議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。
- 3 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。
- 4 会議は、原則公開とする。ただし、会長が必要と認める場合は、会議に諮って、これを公開しないことができる。

---

(部会)

第8条 ビジョン会議は、地域内における特定の地区及び事項について調査、研究等を行うための部会を設置することができる。

2 部会は、会長の指名した委員を部会員として組織する。

3 部会に部会長を置き、会長の指名する委員をもって充てる。

(顧問)

第9条 ビジョン会議ごとに顧問を置くことができる。

2 顧問は、市議会議員とする。

3 顧問は、ビジョン会議からの要請に基づき、市長が参画を依頼する。

4 顧問は、ビジョン会議に対し助言を行うことができる。

(報償金等)

第10条 委員に対する報償金等は、予算の範囲内で、市長が決定し、これを支払うことができる。

(事務局)

第11条 ビジョン会議の庶務を処理するため、ビジョン会議ごとに事務局を置く。

2 事務局の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(その他)

第12条 この要綱に定めるもののほか、ビジョン会議の運営について必要な事項は、会長がビジョン会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成29年4月17日から施行する。

(この要綱の失効)

2 この要綱は、第3条に掲げる所掌事項が終了する日限り、その効力を失う。

別表(第2条関係)

名 称	設置地域
大分中央地域ビジョン会議	大分中央公民館の所管区域
大分西部地域ビジョン会議	大分西部公民館の所管区域
大分南部地域ビジョン会議	大分南部公民館の所管区域
南大分地域ビジョン会議	南大分公民館の所管区域
大分東部地域ビジョン会議	大分東部公民館の所管区域
鶴崎地域ビジョン会議	鶴崎支所の所管区域
大南地域ビジョン会議	大南支所の所管区域
植田地域ビジョン会議	植田支所の所管区域
大在地域ビジョン会議	大在支所の所管区域
坂ノ市地域ビジョン会議	坂ノ市支所の所管区域
佐賀関地域ビジョン会議	佐賀関支所の所管区域
野津原地域ビジョン会議	野津原支所の所管区域
明野地域ビジョン会議	明野支所の所管区域

(備考) 公民館の所管区域のうち、支所の所管区域は除くものとする。

# 大南地域まちづくりビジョン

大南地域ビジョン会議